



奈良県みんなでのしむ大芸術祭

第 49 回

奈良県ジュニア美術展覧会目録

於・奈良県文化会館

会 期／令和 4 年 9 月 18 日(日)～ 9 月 25 日(日)

※ただし、20日(火)は休館、25日(日)は午後 3 時まで

主 催／奈良県・奈良県教育委員会

日本画

(作品名)	(氏名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —		
遊 泳 小 田 穂の佳	檀原学院高等学校	
— 知 事 賞 —		
赤 信 号 芋 生 汐 里	檀原学院高等学校	
— 奈良県議会議長賞 —		
夢 境 奥 田 沙也佳	檀原学院高等学校	
— 教 育 長 賞 —		
Milky way 嶋 岡 和 音	檀原学院高等学校	
— 奨 励 賞 —		
Parallel world 寺 井 咲 絵	関西文化芸術高等学校	
— 佳 作 —		
樹 樹 怪 怪 小 林 元 気	関西文化芸術高等学校	
— 入 選 —		
才 華 爛 発 松 石 有 華	奈良市立都跡中学校	
Camellia 岡 田 さくら	関西文化芸術高等学校	
異 空 間 小 林 元 気	〃	
プイプイプイ 村 中 明 子	檀原学院高等学校	

洋画

(作品名)	(氏名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —		
絵 画 進 化 論 矢 嶋 千 草	奈良市立登美ヶ丘北中学校	
— 知 事 賞 —		
洗 面 所 枝 桃 茄	檀原学院高等学校	
— 奈良県議会議長賞 —		
甘 い 曖 昧 植 田 ひなた	奈良県立高円高等学校	
— 教 育 長 賞 —		
牛骨のある風景 由 布 百 香	奈良県立奈良高等学校	
— 奨 励 賞 —		
目は口ほどに物を言うのか 松 岡 明 梨	奈良県立高円高等学校	
— 佳 作 —		
カイツツのいる街 供 田 理 子	奈良市立伏見中学校	
赤いマントの少女 浅 野 花 菜	奈良市立富雄中学校	
希 望 前 田 珠 実	〃	
保護猫の翔ちゃん 増 田 光 希	奈良市立京西中学校	
COVID-19 大 川 紗 侑	奈良市立富雄第三中学校	
蝗 鳴 山 絃 音	〃	
秘 密 基 地 黒 田 色 未	香芝市立香芝北中学校	
窓 辺 植 村 百 花	斑鳩町立斑鳩南中学校	
愛猫との想い出 中 谷 希 翔	王寺町立王寺北義務教育学校	
C O L O R 瀬 川 あ こ	広陵町立広陵中学校	
ピンクに染まって 藤 裏 友 姫 菜	大淀町立大淀中学校	
自 分 葛 本 琴 音	奈良教育大学附属中学校	
芽 吹 き 向 井 奈 津 紀	〃	
証 明 波 多 野 優 月	奈良県立高円高等学校	
わ た し 松 田 茉 那 美	〃	
憂 鬱 長 谷 梨 央	奈良県立高円芸術高等学校	
生 命 船 田 千 聖	〃	
高 嶺 の 花 中 田 百 和 の	奈良県立西和清陵高等学校	
出 発 徂 徠 朱 雀	檀原学院高等学校	
花 と 瓶 辰 巳 明 里	〃	
前にしか進めない 塚 本 彩 夢	〃	
舞 う 夜 桜 堀 田 真 由	〃	
残 暑 三 橋 愛 美	関西文化芸術高等学校	
真夏の夜のおかしな夢 松 岡 奈 津 美	社会福祉法人ぶろほの	
— 入 選 —		
アニマルパーク 安 部 祐 樹	奈良市立伏見中学校	
ごろごろ 梅 澤 希 英	〃	
夢を追う少女 大 杉 理 菜	〃	
君は透過色 大 間 知 心	〃	

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)	(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
森の動物たち	奥田百華	奈良市立伏見中学校	紫陽花	佐藤来海	斑鳩町立斑鳩南中学校
宇宙からの終焉	越智隼平	〃	向日葵	香山柚希	王寺町立王寺北義務教育学校
ばふえまんしょん	亀矢心菜	〃	sexuality	武村カンナ	広陵町立広陵中学校
ここから出たい	杉本 董	〃	花明かり	中本明希	〃
Colorful Cat	供田理子	〃	繫	山本乙葵	〃
みているよ	中山明日香	〃	花鳥風月	上田真悠子	大淀町立大淀中学校
宝 船	藤森桃子	〃	私だけが見える神社	上山佳奈子	〃
daydream	三宅朱莉	〃	個性	隠地 詩	〃
獣 式 獅	山本晃太	〃	静けさ	仲田ひかり	〃
ぬいぐるみの夢話	山本萌絵	〃	私達の生命	眞子結衣	〃
迷いこんだ先には	米田祥子	〃	青と白の街	川上莉央	奈良教育大学附属中学校
白 龍	上田龍奈	奈良市立富雄中学校	花と女の子	清水心晴	〃
海に浮かぶ鳥居	原 恋那	〃	x 年後	平井友佳	〃
虹 魚	山村佳希	〃	シンデレラ	平川柚香	〃
変わらないバス	内原由奈	奈良市立登美ヶ丘中学校	星の子	古川 智	〃
Butterfly Art Make	金澤未夢	〃	我が家のお嬢	吉水光明	〃
蟲	久保山美鈴	〃	おかえり	稲垣百花	智辯学園奈良カレッジ中学部
夕方と夜の風景	地引美結	〃	愛するサボテンと石膏像メイチ	岡本光司	奈良県立高円高等学校
Happiness	杉本花音	〃	ヴィーナスの横顔	西本奏葉	〃
2つの世界	横田風花	〃	穏やかな時間	堀内優美ティファニー	〃
グリーンパワー	橘 咲文	奈良市立ならやま中学校	ウチュウジン	郡 祈令	奈良県立高円芸術高等学校
龍とドラゴン	柿内瑠月	奈良市立二名中学校	キラキラ	高岡 ゆら	〃
思い出の写真	小川 駿	奈良市立京西中学校	大きな時計と静物	松田 愛菜美	〃
一織に楽しいことしませんか?	木戸彩音	〃	向日葵の夏	真狩小雪	奈良県立高田高等学校
赤いやかんと般若	胡内美咲	〃	春 嬢	安本有里彩	〃
テ ィ グ	白川芽以	〃	さざめく水の夢	遠藤楓子	奈良県立橿原高等学校
人 心	身吉千穂	〃	秋麗の浮御堂	岡 仁美	〃
花 と 鹿	村上小花	〃	花咲くまちへ	今西まどか	奈良県立生駒高等学校
忘れないで	山田萌絵	〃	ハンター	松原直柔	奈良県立大宇陀高等学校
海の月光り	池尻若菜	奈良市立都跡中学校	愈 合	山口 さくら	奈良県立高取国際高等学校
光輝燦然	松石有華	〃	夏の燦爛	小田穂の佳	橿原学院高等学校
戦争と平和の息吹	奥野日向子	奈良市立富雄第三中学校	彩る花と果実	櫻本唯加	〃
田舎そして、少女	高倉優衣	香芝市立香芝東中学校	音楽家の最期	高田真菜	〃
他人のミチ、じぶんの道。	林 美寿希	〃	青 碧 蒼	松澤理恋	〃
今、未来の「希望」を	森山裕美	〃	温室の中より	森園真衣	〃
秋の中のねこ	辻野衣桜奈	香芝市立香芝北中学校	好 一 対	宇井 和	日本教育学院高等学校
描 く	藏堀凧沙	葛城市立新庄中学校	こ こ ろ	加瀬歩乃佳	関西文化芸術高等学校
山 の 神	中野嵩大	〃	味のしない関係	川 寄安慈	〃
登 校	松田優空	〃	意を違と認める確実	土田颯真	〃
君のいない街	小泉安珠	斑鳩町立斑鳩中学校	天使の囁き	西村風柚	〃
水天一碧を裂く	藤井有輝子	〃	I A M	丸尾明日香	〃
夜 の 華	古川ことの	〃			

彫 刻

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)	(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —			私 の 手	小 田 穂の佳	橿原学院高等学校
う ね う ね 日 比 あす香	奈良県立高円高等学校		逡 巡	嶋 岡 和 音	〃
— 知 事 賞 —			手	塚 本 彩 夢	〃
S U N ダ ル 徳 永 愛 花	関西文化芸術高等学校		フ レ ミ ン グ	堀 田 真 由	〃
— 奈良県議会議長賞 —			ピンと張って	森 園 真 衣	〃
対 話 藤 本 愛 羽	奈良県立高円芸術高等学校		LET'S 体育!!	浅 井 陽 介	関西文化芸術高等学校
— 教 育 長 賞 —			く つ	新 司 素 太	〃
鉄 人 吉 田 治 稀	奈良県立御所実業高等学校		S T O N E	新 司 素 太	〃
— 奨 励 賞 —			日 常	市 井 正 菜	〃
檻 の 中 の 狐 有 岡 鈴 奈	広陵町立真美ヶ丘中学校		な つ ぐ つ	浮 田 瑚 都	〃
— 佳 作 —			相 棒	大 稲 優 太	〃
波 紋 の 伝 わ り 中 桧 莉	奈良市立田原中学校		擬 石 こ ろ	大 稲 優 太	〃
乾 漆 造 り の 木 菟 前 野 苺	広陵町立真美ヶ丘中学校		憧 れ	大 隅 美 咲	〃
私 の 手 上 田 真 悠 子	大淀町立大淀中学校		ス ニ ー カ ー	太 田 瑞 柊	〃
僕から見た人々の一部	奈良県立高円芸術高等学校		M y s h o e s	岡 田 さ くら	〃
手 創 市 井 正 菜	関西文化芸術高等学校		石 モ ド キ	尾 崎 日 生	〃
滝 石 久 原 梓	〃		古代のサンダル	尾 崎 日 生	〃
私 の 靴 嶽 釜 珠 優	〃		私 ブ ー ツ	加 瀬 歩 乃 佳	〃
— 入 選 —			ツ リ ー ハ ウ ス	加 瀬 歩 乃 佳	〃
真っ赤ないちご	奈良市立田原中学校		雪 駄	川 田 果 歩	〃
喜 び の 木 上 岡 優 司	〃		ハ ン マ ー	川 田 果 歩	〃
力強く生えているしいたけ	〃		Game Reset	北 本 翔 太	〃
成 長 大 西 真 由	〃		ハ イ ヒ ー ル	久 原 梓	〃
ず っ と 夢 奥和田 笑	〃		大地を踏みしめる一歩	倉 持 梨 沙 帆	〃
おいしそうなリング	〃		せ せ ら ぎ	倉 持 梨 沙 帆	〃
ソファでゆっくりした。	〃		靴	黒 田 友 彩	〃
怒りの世界	〃		I need two pair	小 園 悠 登	〃
週末の睡魔	〃		イタズラで使いたいアイテムTop10	小 園 悠 登	〃
色んな気持ちで前に進んでいる	〃		TITAN SHOES	小 瀧 颯 太	〃
み か ん 中 川 恵 実	〃		黒 曜 石	小 瀧 颯 太	〃
緊 張 西 上 義 基	〃		3 0 セ ン チ	澤 田 凌	〃
春になったら咲くのかな	〃		社 会 の 窓	澤 田 凌	〃
野菜の末っ子	〃		父 の 作 業 靴	城 和 香 穂	〃
夢の世界へ 雨が上って、太陽が出て、虹がかかるというのをイメージしました 脳内、よつよつと書き上がる思いを、脳内で表現して、繊細な気持ちが入り乱れる様子を表した。	〃		部 活	園 村 和 史	〃
今 上 山 佳 奈 子	大淀町立大淀中学校		靴からの攻撃	高 橋 花 梨	〃
畏 友 仲 川 心 優	奈良県立高円高等学校		パステルストーン	高 橋 花 梨	〃
う る う る 中 西 千 尋	〃		偽 石	嶽 釜 珠 優	〃
s k i n 小 林 月	奈良県立高円芸術高等学校		紙のみぞ知る	徳 永 愛 花	〃
			川 原 長 町 陽 菜 音	〃	〃
			リ ボ ン 長 町 陽 菜 音	〃	〃
			Can you hug me ?	服 部 鈴 音 ソ リ デ ァ	〃
			もう履けない。	服 部 鈴 音 ソ リ デ ァ	〃

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
サビサビダンベル	廣 野 秀 哉	関西文化芸術高等学校
ザラザラ靴	廣 野 秀 哉	〃
履き慣れた靴	丸 尾 明日香	〃
餡	丸 尾 明日香	〃
平らな石	満 崎 逢依菜	〃
履きなれた靴	満 崎 逢依菜	〃
ころん	三 橋 愛 美	〃
詫 び 鏝	宮 本 悠 生	〃
ピラニア	森 川 恵 太	〃
試行錯誤	森 川 恵 太	〃
卒業式の一足	八 尾 美沙希	〃
瓦	八 尾 美沙希	〃
宇宙石	山 口 藍	〃
ブラウストーン	山 下 湊 叶	〃
ぶつぶつ靴	山 下 湊 叶	〃
性 人	吉 田 美空飛	〃

工 芸

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —		
～ 該当作品なし ～		
— 知 事 賞 —		
6人のイカした奴ら	宮 本 悠 生	関西文化芸術高等学校
— 奈良県議会議長賞 —		
海から空へ	森 園 真 衣	橿原学院高等学校
— 教 育 長 賞 —		
宇宙の底	西 尾 実 桜	広陵町立真美ヶ丘中学校
— 奨 励 賞 —		
ハリネズミ	満 崎 逢依菜	関西文化芸術高等学校
— 佳 作 —		
錨	奥 田 沙也佳	橿原学院高等学校
六 花 狐	嶋 岡 和 音	〃
鳥 さ ん	西 本 花 音	〃
私 心 開 花	久 原 梓	関西文化芸術高等学校
9本足の怪しい怪物	田 中 虹 輝	〃
国 産 レ モ ン	廣 野 秀 哉	〃
— 入 選 —		
かぼちゃの馬車	松 永 花 梨	橿原学院高等学校
くじらの傘立て	満 崎 逢依菜	関西文化芸術高等学校
土 蘭 金 果 実	宮 本 悠 生	〃
ガス灯街の瞬き	森 本 歩 実	〃
パンダと雫	柳 瀬 希 海	〃
つぶつぶキウイ	山 下 湊 叶	〃

デザイン

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —		
千 紫 万 紅	松 山 結 海	広陵町立広陵中学校
— 知 事 賞 —		
火 星 柳	澤 明 紀	関西文化芸術高等学校
— 奈良県議会議長賞 —		
真 実 の 熱 意	土 田 颯 眞	関西文化芸術高等学校
— 教 育 長 賞 —		
額 と 匙	宮 本 蓮 菜	関西文化芸術高等学校
— 奨 励 賞 —		
困った子は困っている子	尾 崎 日 生	関西文化芸術高等学校
— 佳 作 —		
渴	吉 岡 美桜奈	奈良市立三笠中学校
未 来 へ	小 原 あかり	広陵町立広陵中学校
森 然	下 村 木 葉	〃
Internet	星 子 明佳里	広陵町立真美ヶ丘中学校
猫が紛れた心の中	隠 地 詩	大淀町立大淀中学校
春のメモリー	菖 原 晶	橿原学院高等学校
思うがまま	浅 井 陽 介	関西文化芸術高等学校
強くてニューゲーム	松 井 優 月	〃
稲 荷 神 社	森 脇 奈 月	〃
— 入 選 —		
インクリース・プリーチング	山 本 萌 絵	奈良市立伏見中学校
涼しい夏 文字デザイン 氷	瀬 戸 健 瑠	奈良市立田原中学校
静かな金魚 文字デザイン 鱈	西 上 いろは	〃
優しい風に包まれて	山 本 夏 輝	橿原市立八木中学校
睡 蓮 と 蓮	遠 山 彩 乃	葛城市立新庄中学校
眠 る 青 年	仲 田 爽真音	〃
春 の 唄	植 村 絢 花	広陵町立広陵中学校
漂 う	熊 石 ゆ め	〃
時 を 刻 む	敷 田 あんり	〃
幽 境	眞 子 結 衣	大淀町立大淀中学校
希 望	井ノ上 愛雅沙	橿原学院高等学校
口 ず さ む	今 西 真 優	〃
to turn on the light	小 田 穂の佳	〃
明日への歌	菖 原 晶	〃
努 力	根 比 愛 梨	〃
狐 火	松 永 花 梨	〃
呪 縛	山 崎 瑞 季	〃
可愛い“わたし”に逢いにいこう	市 井 正 菜	関西文化芸術高等学校
心打たれたその時、	大 隅 美 咲	〃

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
残 り 時 間	大 塚 希 彩	関西文化芸術高等学校
届くまでずっと	岡 本 七 海	〃
ジュピターより、観測結果	加 瀬 歩乃佳	〃
愛 が す べ て	片 岡 向日葵	〃
創造のまま	川 田 果 歩	〃
Life and death	北 奥 うるま	〃
世 界	倉 持 梨沙帆	〃
天 涯	黒 田 友 彩	〃
1 0 9 ?	澤 田 凌	〃
INSPIRATION	高 槻 夏 光	〃
秋 風	高 良 基 成	〃
世 知	土 田 颯 眞	〃
理 想 の 世 界	松 岡 沙 耶	〃
波 紋	宮 本 蓮 菜	〃

書 芸

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
— ジュニア県展賞 —		
臨 中 務 集 下	江 咲 那	奈良県立桜井高等学校
— 知 事 賞 —		
臨 楊 峴 梅	玲 良	奈良県立桜井高等学校
— 奈良県議会議長賞 —		
朝 露 小 南 愛 実		奈良県立郡山高等学校
— 教 育 長 賞 —		
臨 王 鐸 船 木 凜 音		奈良県立畝傍高等学校
— 奨 励 賞 —		
臨 大 般 涅槃經	小 谷 朋 香	奈良県立橿原高等学校
— 佳 作 —		
九 成 宮 醴 泉 銘	棚 次 さくら	奈良市立都跡中学校
臨 蘭 亭 序	原 田 沙 奈	帝塚山中学校
臨 王 文 治	川 西 琉 夏	奈良県立奈良高等学校
臨 趙 孟 頫 真 草 千 字 文	友 澤 明 日 香	〃
臨 王 鐸	日 野 谷 歩 実	〃
臨 王 鐸	土 松 萌 夏	奈良県立郡山高等学校
臨 徐 渭	河 本 千 鶴	奈良県立橿原高等学校
臨 董 其 昌	西 上 夏 加	〃
臨 王 鐸	福 井 茉 乃	〃
臨 傅 山 中 川 紗 良		奈良県立畝傍高等学校
李 白 詩	水 野 亜 柚	〃
臨 吳 昌 碩	山 口 由 子	〃
筮 重 光 「書 筏」 之 一 節	浅 田 雛	奈良県立桜井高等学校
臨 本 阿 弥 切	上 田 由 希 恵	〃
臨 趙 之 謙	後 木 智 陽	〃
臨 楊 峴	大 槻 小 春	〃
臨 寸 松 庵 色 紙	奥 田 明 日 香	〃
臨 鄧 石 如	錦 古 里 由 彩	〃
臨 米 芾 蜀 素 帖	楠 本 真 優 実	〃
臨 何 紹 基	櫻 井 咲 良	〃
臨 香 紙 切	櫻 井 咲 良	〃
臨 吳 昌 碩	下 江 咲 那	〃
臨 針 切	梅 玲 良	〃
臨 趙 之 謙	廣 澤 玲 心	〃
臨 小 鳥 切	廣 澤 玲 心	〃
臨 傅 山	南 心	〃
臨 高 野 切 第 三 種	南 心	〃
曼 殊 院 本 古 今 和 歌 集	三 好 柚 羽	〃
臨 美 人 董 氏 墓 誌 銘	井 上 安 梨	奈良県立奈良北高等学校

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
臨 倪 元 璐 草 書 五 言 詩 軸	堀 本 和	奈良県立奈良北高等学校
臨 奚 岡 致 楓 谷 尺 牘	木 村 日 和	奈良市立一条高等学校
臨 王 鐸 草 書 七 律 五 首 卷	松 本 美 音	帝塚山高等学校
— 入 選 —		
臨 九 成 宮 禮 泉 銘	山 川 咲 綾	帝塚山中学校
臨 九 成 宮 禮 泉 銘	油 座 愛 佳	〃
こ の 道 や	岡 山 聖 太 郎	奈良県立奈良商工高等学校
そ よ り と も	奥 田 健 承	〃
赤 と ん ぼ	木 下 結 喜	〃
秋 風 に	小 谷 紗 希	〃
臨 王 鐸	大 河 寿 音	奈良県立国際高等学校
臨 顔 真 卿	小 田 茉 由 佳	〃
臨 道 因 法 師 碑	黒 崎 珂 子	〃
臨 牛 擧 造 像 記	齋 藤 ことみ	〃
臨 乙 瑛 碑	井 上 桃 花	奈良県立奈良高等学校
臨 大 聖 武	岩 田 歩 実	〃
臨 九 成 宮 醴 泉 銘	岩 田 歩 実	〃
万 葉 集	大 西 雪 乃	〃
臨 蘭 亭 序	藤 原 大 輔	〃
臨 白 氏 詩 卷	岩 崎 三 奈	奈良県立高門芸術高等学校
臨 孫 秋 生 造 像 記	川 口 真 奈	〃
臨 茗 溪 詩 卷	川 畑 理 花	〃
臨 何 紹 基 行 草 山 谷 題 跋 語 四 屏	藤 田 斉 人	〃
臨 蘭 亭 十 三 跋	藤 原 真 帆	〃
臨 礼 器 碑	松 田 悠 花	〃
臨 松 風 閣 詩 卷	鎗 本 優 来	〃
臨 文 徵 明	口 野 優 花	奈良県立郡山高等学校
臨 王 鐸	石 井 美 怜	奈良県立橿原高等学校
臨 傅 山	石 井 美 怜	〃
臨 吳 昌 碩	河 本 千 鶴	〃
臨 魏 靈 藏 薛 法 紹 造 像 記	木 村 風 花	〃
臨 張 猛 龍 碑	木 村 風 花	〃
臨 敦 煌 遺 書	小 谷 朋 香	〃
臨 敦 煌 遺 書	紺 屋 侑 希	〃
臨 道 因 法 師 碑	相 和 小 町	〃
臨 傅 山	田 中 汐 音	〃
臨 傅 山	田 中 汐 音	〃
臨 敦 煌 遺 書	中 尾 歩 愛	〃
臨 董 其 昌	中 谷 芙 生	〃
臨 李 思 訓 碑	中 谷 芙 生	〃
臨 真 草 千 字 文	中 村 晶 帆	〃
臨 集 字 聖 教 序	西 上 夏 加	〃

(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)	(作 品 名)	(氏 名)	(学校名又は勤務先名)
臨 傳 山	西 川 由 唯	奈良県立橿原高等学校	臨何紹基行草山谷題跋	清 水 美 都	帝塚山高等学校
臨 董 其 昌	西 川 由 唯	〃	臨九成宮禮泉銘	濱 田 花 凜	〃
臨元顕偽墓誌銘	樋 口 靖 空	〃	臨 米 芾	大 西 美 穂	育英西高等学校
臨道因法師碑	樋 口 靖 空	〃	臨 楽 毅 論	辻 井 智 優	〃
臨 徐 渭	福 井 茉 乃	〃	臨九成宮醴泉銘	山 角 真 以	〃
臨 呉 熙 載	森 本 初 美	〃	海 の 音	吉 村 悠 里	〃
臨 何 紹 基	森 本 初 美	〃	臨 集 字 聖 教 序	和 田 桃 花	〃
臨興福寺断碑	山 根 志 織	〃			
臨 趙 孟 頫	山 根 志 織	〃			
臨 赤 壁 賦	湧 谷 歩 未	〃			
臨 張 猛 龍 碑	岸 葵 唯	奈良県立畝傍高等学校			
臨 王 鐸	胡 内 彩 伽	〃			
臨 呉 昌 碩	妙 中 梨 乃	〃			
臨関戸本古今集	妙 中 梨 乃	〃			
臨 王 鐸	羽 山 結 奈	〃			
臨魏靈蔵造像記	疋 田 涼 香	〃			
臨 鄧 石 如	藤 本 果 歩	〃			
臨 禮 器 碑	布 施 暖 笑	〃			
関戸本古今集	浅 田 雛	奈良県立桜井高等学校			
臨 鄧 石 如	上 田 由 希 恵	〃			
臨寸松庵色紙	後 木 智 陽	〃			
臨 本 阿 弥 切	大 槻 小 春	〃			
臨賀蘭汗造像記	奥 田 明日香	〃			
臨 中 務 集	錦 古 里 由 彩	〃			
臨 針 切	楠 本 真 優 実	〃			
臨 王 鐸	多 田 泉 輝	〃			
臨 繼 色 紙	多 田 泉 輝	〃			
臨 傳 山	堀 口 紗 愛	〃			
臨関戸本古今集	堀 口 紗 愛	〃			
臨 鄧 石 如	溝 口 結 希 音	〃			
臨寸松庵色紙	溝 口 結 希 音	〃			
九成宮醴泉銘	三 好 柚 羽	〃			
白鷺をこぼさぬ蔵のうねりかな 芭蕉	中 門 歌 咲	奈良県立生駒高等学校			
臨 呉 昌 碩	秋 陽 菜	奈良県立奈良北高等学校			
臨 趙 孟 頫	石 田 菜 月	〃			
臨 米 芾	山 口 穂 佳	〃			
臨 傳 山	北 川 聖	奈良県立香芝高等学校			
臨王羲之想小大皆佳帖	桑 津 千 弥	奈良市立一条高等学校			
臨伊都内親王願文	中 島 慶 子	〃			
臨高野切第一種	米 山 莉 世	〃			
臨 雁 塔 聖 教 序	金 政 瑛 美	帝塚山高等学校			
臨 祭 姪 文 稿	坂 口 奈 菜 子	〃			

第 49 回 奈良県ジュニア美術展覧会概評

日本画の部

第49回展は出品数が10点と例年に較べて半減しました。(高校生8名9点。中学生1名1点)少し寂しい思いが致します。

現代の若い人達に日本画の魅力を私達が伝えていく必要があるのではないかと考えています。

絵画制作は、自分の思いを色と形と構成に託して、その時その場で自分の感じるままに作り上げて行くという根気のいる作業です。

そのためには準備を怠らず、制作の見通しを持つこと、そして何より良い作品を作りたいという情熱がとても大切になって来ます。

ジュニア県展賞、「游泳」小田穂の佳さんの作品は、こんな絵を描きたいという思いがストレートに伝わって来る良い作品でした。高い技術力、表現力と緊密な構成が、力強い造形作品となっています。

知事賞、「赤信号」芋生汐里さんの作品は、日常的な風景をモチーフに、誰もが共感出来るような情感あふれる作品にまで作り込んだ表現力が、質の高い魅力あるものとなっています。

洋画の部

今年の出品点数は昨年に比べ32点増で、ジュニア美術展への関心の深さが示され、喜ばしいことです。特に中学生の出品が多く、レベルも高く、真剣に取り組んでおられる姿が目につかびます。テーマも自然の風景や静物、また自分のイメージとさまざま表現も自分なりの描き方で面白く描かれています。

高校生の作品はさすがに経験を積んでおられるからでしょうか、さらに重厚な感じがします。

今回残念な結果となった作品の中にも良い作品がありました。特に感じた事は描き込みの問題で、もう少し描き込めばと残念に思うことが多かった。来年に向けてしっかり描き込まれた作品を期待します。

*ジュニア県展賞「絵画進化論」矢嶋千草

繊細さと大胆さをあわせ持った感性豊かな作品で、表現力も素晴らしい。荒けずりで未完のような背景の処理も主題の人物を一層引き立てて魅力を感じさせます。中学生である作者の表現力に驚きと次なる作品を早く見たい気持ちでいっぱいです。

*知事賞「洗面所」枝 桃茄

日常の家庭内で私達が使用する一場面を作者の透視図法でまとめた画面は、力強い表現力があります。洗面所の毎日使用しているグッズや日常使用している物の材質感、なにげない物の描き込みに苦心の一端があり、うまくまとめられています。カガミに映る洗面所

の小さな空間を見る作者の素直なまなざしが全体に感じられ、色調と表現にもおおらかさが感じられます。

*奈良県議会議長賞「甘い曖昧」植田ひなた

氷と水の表現に苦労された作品ですが、夢の世界にさそわれる作者を若い感性で表現できています。緑色を主調色に赤色を効果的に配して、美しい作品となりました。来年も若い感性でとらえた作品を期待しています。

彫刻の部

審査はすべて投票により厳正公平に行いました。昨年に比べ突出した作品はあまり無いものの全体のレベルは高く感じました。紙、段ボール、糸、毛糸などのソフトな素材があっても良いのではと思いました。

*ジュニア県展賞「うねうね」日比あす香

新しい素材で作られたユニークな作品です。もう少し華やかな色遣いがあればとも感じました。

*知事賞「SUNダル」徳永愛花

素材と実物のかけ離れた構想が目新しい作品です。実際持つと重いのに軽やかです。

*奈良県議会議長賞「対話」藤本愛羽

素直に粘土に取り組み大変好感が持てる作品です。全体のバランスもとても調和が取れています。

工芸の部

デザインの部

デザイン部門では、昨年に比べ応募作品数が増加した点は好ましいといえる。

しかし、デザインとは本来社会に向けての訴求性が求められるので、その視点における作品が少ないのが残念である。

特に社会的な事件が多い昨今、それをテーマにした作品もほぼなかった。タイトルや言葉をビジュアルと連携し、デザインを考えるような発想も望まれる。

工芸部門に関しては、今回はジュニア県展賞に該当する作品がなかった点が残念である。工芸は各種の素材を用いるが、そのなかに自分自身の発想も含め、自分らしさの表現をしてほしい。

【工芸部門】

*知事賞「6人のイカした奴ら」宮本悠生

いろいろな顔の表情をした楽しさと仲の良さが伝わってきて、好ましい作品である。ただ視点を変えれば民芸調になりやすいため注意が必要である。もう少しサイズが大きければより良かった。

*奈良県議会議長賞「海から空へ」森園真衣

海中から空へ跳ね上がる鯨の姿が美しく、青の釉薬がうまく使われている。波のしぶきも立体感があり、色彩のグラデーションも効果的に表現されている。

*教育長賞 「宇宙の底」 西尾実桜

中学生の切り絵の作品であるが、宇宙に見立てた海底がうまく表現できている。動植物のモチーフの構成がユニークである。

【デザイン部門】

*ジュニア県展賞 「千紫万紅」 松山結海

中学生の作品であるが、小型の画面ながら力強い表現である。阿修羅像にきつねの面を合わせたところに面白さがある。

*知事賞 「火星」 柳澤明紀

簡素な構成とデザインに火星の風景を空想した作品である。フォルムと色彩のデザイン性が優れている。

*奈良県議会議長賞 「真実の熱意」 土田颯真

グロテスクな模様に小さな人の顔のようなフォルムを埋め込んで、繭のような形にまとめている。明暗の配分が巧みで、イメージをみてとりやすい。部分的な有彩色の構成にもセンスを感じる。

書芸の部

コロナ禍がいまだ収束が見られない中、その影響で昨年より20点出品数が減りました。

しかし、出品された作品の内容は実に堂々として例年に比して決して劣るものでは有りませんでした。展示場所の都合で惜しくも15点の落選作を見ましたが、中学生作品4点が将来に楽しみを感じさせてくれました。うち2点も佳作に選ばれたのが如実に示しています。

また、漢字・仮名作とも文字の確かさに不安を感じ

ました。仕上げるまでに、間違っている文字がないよう指導者に確かめてもらうことも大切です。

*ジュニア県展賞 「臨中務集」 下江咲那

中務集の細く鋭く張りのある線質をみごとに表現した秀作。終始、字形に乱れがなく、行間に留意しつつ、息長く運筆した点は大いに評価できます。

*知事賞 「臨楊峴」 梅 玲良

楊峴特有の抑揚のある用筆法を再現し、味わいのある線で表現できています。また、字形も細部までよく観察が行き届き、ゆるぎなさを感じる作品です。

写真の部

3年間続きの新型コロナウイルス禍の中で、昨年の出品数71点より21点増で、ジュニアの立場から各種のモチーフで表現され、有りし日の臨場感が偲ばれました。時が経ち、機材も大きく変遷しつつある今、いつの時代も写真は見て感じ撮った一瞬の反射神経を生かし、リアルに表現したいものを先ず迅速果断の精神力で！

*ジュニア県展賞 「静寂な水鏡」 尾藤小春

写真は光線がなければ写らないですが、敢えて光線の少ない森林を選ばれ、密やかな暗さの中に、幹が生命体として生きる自然の美しさをメッセージし、更に水鏡で増幅が感じとれます。この様な感じる視覚言語がより題名の静寂を醸し出した秀作です。

*知事賞 「思いのままに」 荒木 星

今のカメラはシャッターを押せば美しく写ってくれます。そのような特性を裏切るように荒木 星さんの作品は写っていないところに注意を惹くように視線を外したところが素晴らしく、奥行きが感じられます。

審査員（五十音順・敬称略）

◇日本画

多留 裕二 吉田みゆき 渡邊 章雄

◇洋画

今中 和義 岡崎 浩 岡田 俊一

◇彫刻

石増 敏枝 杉村 仁 鈴木 正三

◇工芸 ◇デザイン

大塩 正 北山あけみ 嶋 高宏
嶋田 宏司

◇書芸

井上 雅章 栢木 ふみ 河合 保秀
喜多 芳邑 武村 榮子 中村 象谷

◇写真

川畑 秀樹 澤 戢三 辻本 奨之

